


令和 3 年 度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評価基準概評	
サービス改善計画	○

施設・事業所名： じくらんぽ

健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

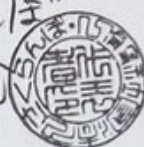
令和4年4月26日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 あて

(所在地) 彦根市芥町16番28-105号

(施設・事業所名) 一般社団法人 さくらんぼ

(代表者職・氏名) 代表理事 成宮光代



健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 施設・事業所の名称

さくらんぼ

2 評価基準およびサービスの種別（該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入）

○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準①〔障害者／施設、グループホーム〕
(種別:)

イ 障害福祉サービス共通評価基準②〔障害者（児）／在宅〕
(種別:)

☒ ウ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ その他の評価基準 (具体的に:)

※種 別（記入例：就労継続支援B型）

3 自己評価の実施時期（自己評価結果をとりまとめた時期）

令和4年4月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

☒ 提供してもよい

・

☐ 提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|---------------------------|
| ①市町への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|---------------------------|
| ①市町への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="radio"/> した | ・ | <input type="radio"/> しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年4月26日

事業所名 さくらんぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	月回職員会議を開き改善	振り返りをし、改善の確実性を行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		6ヶ月に1度御家族と面談	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		全職員必修研修を月回実施	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		報告書を活用	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		○	子供のニーズに合わせて対応	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	長期休暇はプログラムを実施	平日も曜日を決めてプログラムを作る等改善の余地あり
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	状況に合わせて、その場で対応している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	月回職員会議を開き改善	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		報告書を活用	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		プロフィールを作成し情報を共有	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		相談員との会議や報告の実施	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		子どもは日中一時も保護者へ引き継ぎ	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>			コロナの状況をみながら、保護者も参加出来る企画を立てたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		SNSの活用	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>			マニュアルは策定しているが改善の余地あり。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		月回職員会議の中で実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		個別対応 利用計画書 を活用	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		プロフィールを作成し情報を共有	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			

サービス改善計画書

策定日：令和4年4月26日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：さくらんぼ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
業務改善 (項目4)	いいえ	業務改善を行った後の交果の確認が出来ていない	交果の確認を行う	令和4年 5月1日より 業務改善を行う度 月回の 職員会議 で確認	成宮光代	

サービス改善計画書

策定日：令和4年4月26日

事業・サービス名：延言果後等デイサービス

施設・事業所名：さくらんぼ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
適切な支援 の提供 (項目13)	いいえ	長期休暇以外 の平日や休日に プログラムを作る等 改善の余地あり	プログラム導入の 検討	令和4年 12月	成宮光代	